

第4回湖西市立学校教育施設適正化検討委員会記録 概要

- 1 日 時 令和3年12月22日(水) 14時00分～15時30分
- 2 場 所 西部地域センター
- 3 出席者 島田桂吾、袴田雄司、疋田貴之、板倉福男、鈴木誓子、杉浦よしみ、西川睦弘、黒柳孝江、新美留美、鈴木聖慈

4 概 要

前回検討した「単学級の小規模校の1学級における必要な最低人数として、小学校では20人以上、中学校では30人以上」と、「望ましい教育環境としての学級数では、小中学校ともに2学級以上、できれば3学級以上」に教育環境を近づけるための手法について議論を行った。十分な議論を行うために、あと2回実施することが確認された。

5 協議における主な意見

○現状のままだと減少が続く、適正規模にはならないため、問題を解決するための手法として「通学区域の見直し、学校選択制、適正配置」について、湖西市の考え方を議論した。

- ・通学区域が旧の町村に基づいて設置されている。したがって通学区域を大きくしたり、小さくしたりするのは、行政区と通学区域の不一致となるため、なかなか難しいのではないかと考える。仮に学校選択制を導入した場合、状況によっては、こちらの思惑と逆になるような結果も出てくることが考えられる。小規模校の子どもの数を増やすために、選択制にしたのに、逆に小規模校の子どもたちが大きな学校を選択して、ますます小規模校の子どもの数が少なくなってしまうことも考えられるので、慎重にいく方がよい。まずは、やはり統廃合を選択していくのがよいと思う。統廃合をベースに考えていって、それで補えない場合には、色々な手法を考えるのがよいのではないか。ただアンケートの結果を見ると、地域住民への丁寧な説明という言葉が多く出ている。その点も配慮していく必要がある。ただ、ここでは配慮することを前提として、この課題を解決するために、思い切って統廃合という手立てをとることが1番良いのではないか。
- ・通学区域の変更というのは、保護者、地域と学校との繋がりががあるので、地域の理解は得られにくいと思う。手をつけにくい手法だと思う。学校選択制は、児童生徒の数が読めない、学級数が分かりにくいなど、問題を感じる。学校と地域が繋がって、色々な活動を行っている。住んでいるところと異なる学校に通うことは、なかなか難しいことではないか。そう考えていくと適正配置を考えていかないといけないと思う。ただ時期というのが、大事になってくると感じている。保護者、地域のアンケート結果では現行のままだという意見が非常に多かった。どこかで目指さないといけないことはわかるが、その時期を慎重に判断していかないといいない。
- ・アンケートを見ると理想は理想、気持ちは気持ちという感じで、1学年に2学級以上が良いだとか、1クラス30人以上だとか、皆さん理想は同じようなことを考えていると思う。統廃合するかどうかという現状維持が良いと考える方が多くなっている。学校選択制というのは1つの手法だと思うが、そうすると親心として適正な人数のところに通わせたいと考えるのではないか。それに、地域をまたぐことは難しいと思う。そうすると小中一体化や統廃合によって学校を合わせることで、それだけではなく、市の政策などによって人を増やしていくということも大事になってくると思う。そうい

う両輪でやっていくしかないのかなと思う。

- 通学区域の変更も学校選択制も少し難しいのではないかなと思う。先ほどから出ているようによかれと思っても反対の方向に出てしまうこともある。望ましい学級数や1学級あたりの人数を確保しようとする、統廃合が1番現実的な選択ではないかなと思う。
- 通学区域の変更と学校選択制は1番地域住民の理解が得られないと思う。アンケートの結果でも小規模校で自分たちは役員ばかりやって大変だという思いもある反面、自分の子供はしっかり見られていて嬉しいという思いをもっている。地域を分けるとなると1番反発が多いし、地域を担っていかなければいけない子どもたちがあっちへ行ったり、こっちへ行ったりと、繋がり自体がうまくいかなくなると思うので、統廃合の方を考えていった方が良いと思う。
- 通学区域変更と学校選択制はデメリットの方が大きいと思う。交通手段を考えるとバスも通っていないし、保護者の送り迎えも大変だと思う。適正配置の中の統廃合が子ども達の為にも1番ではないかなと思う。
- 判断する上で何が大事かという、そこに通って行く子どもたち、親御さんのことをまず第1に考えること。その視点では、統廃合かなと思う。実際に老朽化の資料を見たときに、統廃合を進めていくにしても、地域の理解を得ながら進めていくので、一気に進めていくことはできないと思う。子どもたちが親になっていくことも想定し、子どもたちが親になった時に通わせたいと思えるような学校をつくっていくことが大事だと思う。わくわくするような学校が必要である。